

【六根清浄大祓】

天照坐皇大神の宣はく

人は則ち天下の神物なり

須べからく掌しずまることつかさどる心は則ち

神明の本主たり

心神を傷ましむること莫かれ是の故に

眼に諸の不浄を見て心に諸の不浄を見ず

耳に諸の不浄を聞きて心に諸の不浄を聞かず

鼻に諸の不浄を嗅いで心に諸の不浄を嗅がず

舌に諸の不浄を味わいて心に諸の不浄を味わはず

身に諸の不浄を触れて心に諸の不浄を触れず

意に諸の不浄を思ひて心に諸の不浄を想はず

是の時に清く潔よき偈あり

諸の法は影と像の如く清く浄よければ

仮にも穢がるることなし説を取らば得べからず

皆因よりして業とは生る我が身は則ち

六根清浄なり

六根清浄なるが故に五臓の神君安寧なり

五臓の神君安寧なるが故に天地の神と同根なり

天地の神と同根なるが故に万物の霊と同根なり

万物の霊と同根なるが故に為す所願として成就せずと云ふことなし

無上靈宝 神道加持